

Overview: 宮と都は地の結果です。私たちは先ず、地を回復する、すなわちキリストの豊富を享受することを回復する必要があります。そうすれば、宮と都はその地に回復されます。宮は神の安息のための家であり、都は神の権威のための王国です。信者のキリストとの距離は、彼らが主を享受すればするほど近くなります。今の時代、召会は神の宮と都として、神との交わりを中心、神が支配することを中心です。新約エコノミーは、イエス、「神われらとともにいます」をもって開始し、新エルサレム、「エホバがそこにおられる」で結んでいます。

I. 聖なる宮と聖なる都(召会を予表する)は、聖なる地(キリストを予表する)の結果です。召会は、キリストの豊富を享受することの結果です:

A. 神の選びの民はキリストの豊富にあずかり、それを享受するとき、これらの豊富で構成されて召会となります。召会を通して、神の多種多様な知恵は天上にある支配たちや権威たちである天使に知らされます。このゆえに、召会はキリストであるものすべての知恵ある展覧です。

B. 良き地は乳と蜜の流れる地であり、キリストの豊富を予表しています。乳も蜜も二種類の命(動物の命と植物の命)の組み合わせから成る産物です:

1. 乳は草を食べている家畜によって産出され、蜜は蜜蜂によって花の蜜から採られます。
2. 乳と蜜はキリストの豊富を表徴しており、それはキリストの命の二つの面、すなわち、キリストの法理的な贖いのための彼の贖う命(動物の命によって予表される)と、キリストの有機的な救いのための彼の生み出す命(植物の命によって予表される)から来ます。
3. こういうわけで、良き地は広大な地であって、すべてを含むキリストの満ち満ちた救い(彼の法理的な贖いと有機的な救い)における、すべてを含むキリストです。

C. 地の回復は、キリストの豊富を享受することの回復を表徴します。キリストご自身が失われることはあり得ませんが、私たちの経験においてキリストは失われ得るのです。

D. いったん地が回復されるなら、宮と都はその地の上に建造されることが出来ます。良き地、すなわち、カナン地は、すべてを含むキリストの満ち満ちた完全で究極的な予表です。キリストは、三一の神の具体化であって、すべてを含む命を与える霊として実質化されており、神の民に割り当てられた嗣業として彼らの享受となります。

E. イスラエルの子たちはその地の豊富を享受することによって、宮を建造して、地上での神の住まいとならせ、またエルサレムの都を建造して、地上での神の王国を設立することができました。同じように、キリストにある信者たちはキリストの計り知れない豊富を享受することによって建造されて、キリストのからだ、召会となります。それは、キリストの豊満、彼の表現であり、また神の住まい、神の王国でもあります。

F. 聖なる所、すなわち宮は神の家であり、神の安息のためです。都は神の王国であり、神の権威のためです。両方とも神の家また神の王国としての召会を予表しており、それは永遠における新エルサレムにおいて究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを成就します。」

II. 良き地は、西側の地中海の水と、東側の死海またヨルダン川の水との間にあります:

A. 高い地であるカナンの地が水によって囲まれていることが示しているのは、良き地が死によって囲まれているということです。こういうわけで、良き地が予表しているのは、死人の中から復活させられ、高く上げられた、復活したキリストです。このことがまた示しているのは、キリストを享受することが彼の死と密接な関係があり、彼の死の範囲、領域の中になければならないということです。

B. 良き地の北側には、境となる川がありません。その代わりに、高い山であるヘルモン山があり、それは天を表徴しています。神の恵みの露はそこから、地方召会を予表するシオンの山々に下って来ます。高められた良き地とヘルモン山が表徴しているのは、昇天した復活のキリストです。」

III. 地の割り当てによって描写されている絵が示しているのは、復興の時に、北のダンから南のガドまで、すべてのイスラエル人がキリストを享受するようになって、彼らとキリストとの距離の近さは同じではないということです:

A. 各部族とキリストとの距離の近さは彼らの重要性によって決定されます。最も重要な人は祭司であり、彼らはキリストと最も近く、民と主との交わりを維持します。レビ人と主との距離が次に近く、彼らは主に対する奉仕を維持します。

B. それから、都のための働き人と主との距離が三番目に近く、彼らは神の行政を維持します。さらに、王と王職を伴う王家があります。

C. 祭司の交わり、レビ人の奉仕、神の行政を維持する働き、王職すべて、その地の豊富から出て来ます。霊的な意義によれば、このことが意味しているのは、召会の中では交わり、奉仕、働き、行政、王の身分、主権、王職がすべて、キリストの豊富を享受することから出て来るということです。

D. 私たちはキリストを享受すればするほど、ますます彼に近くなります。私たちは彼に近くなればなるほど、ますます彼の定められた御旨において重要になります。

E. 最も重要なのは祭司と王です。新約の啓示によれば、すべての新約の信者たちは訓練して、祭司と王となるべきです。」

IV. 都は十二の城門があり、その上にはイスラエルの十二部族の名があります。この都はエルサレムであるに違いありません。この都は、千年王国の地的部分において、復興されたイスラエルと神との住まいとなります。都はそのような住まいとして、召会の中の勝利者たちと旧約の勝利を得た聖徒たちを予表しています。彼らは千年王国の天的部分において、すなわち、天の王国の実現において、神と勝利者との相互の住まいとしての新エルサレムとなります:

A. 城門の数が十二(三かける四から成っている)であることが表徴しているのは、神の聖なる都、新エルサレムが、三一の神(三)と彼の被造物である人(四)とのミングリングであるということです。

B. 十二という数は、神の行政上の絶対的な完全、また永遠の完成をも表徴しています。このことが示しているのは、新エルサレムが神性と人性の永遠のミングリングであるだけでなく、このミン

V. イスラエルの歴史は、召会の歴史の満ち満ちた予表です:

A. イスラエルの歴史は、イスラエルが出エジプトした時の過越の団体的な経験で開始し、主の二回目の来臨まで継続します。その時、イスラエルは復興されて、十二の門がある地上のエルサレムを建造します。

B. 召会の歴史も、過越、すなわち、犠牲としてささげられたキリストで開始し、千年王国まで継続します。その時、勝利を得た聖徒たちは天のエルサレム、すなわち十二の門がある新エルサレムとなります。

C. 千年の後、天のエルサレムは拡大して、新しい天と新しい地における新エルサレムとなります。新エルサレムは、イスラエルと召会からのすべての贖わ

VI. 神はエゼキエル書の終わりににおいて、聖なる地における聖なる宮と聖なる都を得ます:

A. 神は宮に住み、都にも住みます。神は宮において彼の民と交わりを持ち、都において彼の民の間で王として支配します。このことは、神が宮と都において、天から下って来て人と共に住んでいることを示しています。

B. 宮と都が予表しているのは、現在の時代において召会が、神との交わりを中心であり、また神が王として支配することの中心であるということです:

1. 宮と都としての召会は、良き地としてのキリストの中にあります。宮と都としての召会の中で、神は彼の表現を得て、神と彼の民は互いに享受し、相互の満足を得ます。

VII. 「その都の名はその日から、『エホバはそこにおられる』(ヘブル語原文、「エホバ・シャマー(Jehovah-shammah) )」となる:

A. 新約エコノミーは、イエス、すなわちエホバ・救い主また「神われらと共にいます」をもって開始し、新エルサレム、「エホバはそこにおられる」また「エホバの都」をもって、すなわち、大いなる「私はある」の都をもって結んでいます。

B. エホバはパーソンであり、「そこにもパーソンです。」「エホバがそこにおられる」が意味しているのは、エホバが彼の贖われ、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人々の中にいるということと、彼らが彼の中にいるということです。

C. エホバは「そこに」おられるので、人々はエホバを見るとき、私たちを見ます。そして彼らは私たちを見るとき、エホバを見ます。

D. 「エホバはそこにおられる」は、実はエホバご自身の臨在であって、彼は彼の贖われ、再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人々と結合され、ミングリングされ、合併されて、一つの実体、すなわち、団体の、大いなる神・人となっています。この団体の神・人は、神と人の相互の住まい、すなわち、人の中にいる神と神の中にいる人との住まいです。

E. 神を恵みとして、また私たちの享受のためのあらゆるものとして享受することによって、宇宙におけるあらゆる積極的なものは、神を賛美します。それは、神がご自身と私たちを一つの実体(栄光の都である新エルサレム)とするために私たちの中で行なってくださったことのゆえです:

1. その時、全宇宙は「ヤ(Jah)」(エホバの短縮形)の賛美で満たされます。彼がご自身の心の願いのために、私たちにとって彼であるすべてのゆえに、彼が私たちの中で行なっているすべてのことのゆえに、彼が私たちのために行なおうとしているすべてのことのゆえに、私たちは彼に感謝をささげることの中で、また彼への礼拝の中で次のように宣言しなければ

<p>グリングから出て来る完全な行政でもあるということです。この都は永遠において神の完全な行政管理のために、満ち満ちた権威を行使します。</p>	<p>れた者たちを含んでおり、神の表現、また神と彼の贖われた者たちの未来の永遠における相互の住まいとなります。」</p>	<p>2. 召会は神の宮、また神の都として、新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。」</p>	<p>なりません、「ハレル・ヤ(Jah)、ヤ(Jah)を賛美し、エホバを賛美します！」。 2. 私たちは詩篇の作者と共に叫ばなければなりません:a. 「息のあるすべてのものにエホバを賛美させよ。ハレルヤ！」(詩150:6)b. 「エホバ・イスラエルの神は、永遠から永遠までほむべきかな。すべての民は言え、アーメン。ハレルヤ」(106:48)」</p>
--	--	---	---

**第一日:** エゼキエル47:13 主エホバはこう言われる、「あなたがたがイスラエルの十二部族に、この地を嗣業として分ける境界は次のとおりである。ヨセフは二つの分を持つ。  
エペソ3:8 …私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり。10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり。  
出3:8 私は下って行って、彼らを…良い広大な地に、乳と蜜の流れる地に…上らせる。  
エペソ2:21 その方の中で、建物全体が共に組み合わされ、主の中にある聖なる宮へと成長していき、22 その方の中で、あなたがたもまた共に建造されて、霊の中にある神の住まいへと至るのです。

《預言ノート》

**第二日:** エゼキエル47:15 その地の境界は次のとおりである。北側は、大海から…。  
18 東側は…すなわち、ヨルダンの間から、北の境界から東の海まで測らなければならない。これが東側である。

民34:12 さらに、その境界はヨルダンに下り、塩の海に至らなければならない。これが周囲の境界によるあなたがたの地でなければならない。

**第三日:** エゼキエル48:1 さて、部族の名は次のとおりである。北の端から、ヘテロンの道に沿ってハマテの入り口まで、またダマスコの領域の境界にあるハザル・エナンと、北のハマテまで(各部族の地境は東から西に広がる)、これがダンの一つの分である。  
27 また、ゼブルンの境界に沿って、東側から西側までが、ガドの一つの分である。

1ペテロ2:5 あなたがた自身も生ける石として、霊の家に建造されていながら、聖なる祭司の体系となって、イエス・キリストを通して、神に受け入れられる霊のいけにえをささげなさい。  
9 しかし、あなたがたは選ばれた種族、王なる祭司の体系、聖なる国民、所有として獲得された民です。それは、あなたがたを暗やみから、驚くべき光の中へ召してくださった方の美徳を、あなたがたが告げ知らせるためです。

啓1:6 私たちを王国とし、彼の神また父の祭司としてくださった方に、栄光と権能が永遠にわたってあるように。アーメン。

5:10 彼らを私たちの神のために王国とし、祭司とされたからです。そして彼らは地上で王として支配します」。

**第四日:** エゼキエル48:31 都の城門はイスラエルの部族の名にしたがっており…。

啓21:12 それには大きな高い城壁があり、十二の門があって、その門には十二人の御使いがおり、刻まれた名があった。その名はイスラエルの子たちの十二の部族の名である。

**第五日:** エゼキエル48:31 都の城門はイスラエルの部族の名にしたがっており、北に三つの城門…。

35 その周囲は一万八千さおであり、その都の名はその日から、『エホバはそこにおられる』となる。

啓21:22 私はその中に宮を見なかった。主なる神、全能者と小羊が、その宮だからである。

**第六日:** エゼキエル48:35 …その都の名はその日から、『エホバはそこにおられる』となる。

啓19:1 これらの事後、私は、天で大群衆の大声のようなものが、こう言うのを聞いた、「ハレルヤ！ 救いと栄光と力とは、私たちの神のものである。」

イザヤ60:14 あなたを苦しめた者の子たちは、かがんであなたに来る。あなたをさげすんだ者はみなあなたの足の下にひれ伏す。彼らはあなたをエホバの町、イスラエルの聖なる方のシオンと呼ぶ。

啓21:11 それ(新エルサレム)は、神の栄光を持っていた。その光は最も尊い宝石のようであり、水晶のように透明な碧玉のようであった。

### 経験①:キリストを享受して、ネヘミヤのように進取的に召会を建造する

私たちが建造の回復を持つことができる前に、地を回復する必要があるのを認識することは、極めて重要です。地の回復は、キリストの享受の回復を表徴します。キリストご自身は失われることはありませんが、私たちの経験において、キリストは失われ得ます。私たちは救われた時、キリストを受けました。しかしながら、しばらくして墮落し、経験においてキリストを失いました。地の回復は、キリストの豊富を経験することの回復です。いったん地が回復されるなら、家はその地の上に建造されることができます。

良き地、すなわち、カナン地は、すべてを含むキリストの満ち満ちた完全で究極的な予表です。キリストは三一の神の具体化であって、すべてを含む命を与える霊として實際化されており、神の民に割り当てられた嗣業として彼らの享受となります。…申命記第8章7節から9節における良き地の豊富は、キリストの計り知れない豊富のさまざまな面を予表します。それらは、彼の霊の中の信者たちに対する満ちあふれる供給です。…イスラエルの子たちはその地の豊富を享受することによって、宮を建造して、地上での神の住まいとならせ、またエルサレムの都を建造して、地上での神の王国を設立することができました。同じように、キリストにある信者たちはキリストの計り知れない豊富を享受することによって建造されて、キリストのからだ、召会となります。それは、キリストの豊満、彼の表現であり、また神の住まい、神の王国でもあります。

### 在職青年編

在職青年として、あなたの召会生活、クリスチャン生活、ビジネス・ライフにおける主要なことは、キリストの豊富を享受することです。キリストの豊富を享受することは、召会生活やクリスチャン生活とは関係があっても、ビジネス・ライフとは直接関係がないと考えてはいけません。ビジネス・ライフにおいても主要なことは、キリストを享受することです。人はそもそも神を内容とし、神を表現する器であり、道具ではありません。キリストを享受し、内側でキリストで満たされ、外側にキリストを表現することは、あなたにとってあらゆることでの秘訣です。

キリストを享受することは、神の宮と都を建造するという結果になります。この原則はあなたのビジネス・ライフでも同じです。キリストを享受することによって、あなたのビジネス・ライフを神の祝福の下で建て上げてください。召会生活であれビジネス・ライフであれ、キリストを享受して、建造するという神聖な路線の中にあれば、すべての生活は祝福されます。

ネヘミヤの事例を考察してみます。ネヘミヤは進取的に神の宮と都の城壁を建造しました。アンモン人やアンモン人のリーダーたちは、ネヘミヤがイスラエルの子たちの益を求めたことについて非常に不愉快になりました。しかしネヘミヤはこれらの反対者をあざけり、軽蔑し、叱責することに関して、臆病ではなく、純粋で進取的でした。神から助けを受けるのは、進取的な人です。ネヘミヤは天然の人の中で生きたのではなく、復活の中で生きたので、神にとって有用になりました。彼は神の民の間でリーダーがどのようにあるべきであるかの模範でした。彼の進取性は以下の特徴を伴っていました。

- i)ネヘミヤは神との関係において、神を愛し、地上での神の權益を愛する人でした。
- ii)ネヘミヤは神を愛する人として、交わりの中で神に祈り、神に接触し、神の言葉の上に立ち、神の言葉に従って祈りました。
- iii)ネヘミヤは神に信頼し、さらに神と一になり、結果として彼は神の代理となりました。
- iv)ネヘミヤは民との関係において完全に自己がなく、自己の追及や權益がありませんでした。彼は常に進んで民のために自分が持っているものを犠牲にしました。

ネヘミヤの進取性や上記の特徴は、彼が主との交わりの中で主を享受することで、生み出された特徴でした。ネヘミヤは主を享受した後、進取的に宮と都の再建に携わりました。あなたはビジネス・ライフと召会生活を切り離してはいけません。ビジネス・ライフでキリストを実際的に経験し、進取的に召会を建造してください。そのときサタンはあなたを攻撃して来ますが、あなたは決して恐れたり、おののいたりするのではなく、ネヘミヤのように敵を叱責すべきです。そうすることであなたのビジネス・ライフは祝福されるでしょう。

ネヘミヤ 5:19 私の神よ、私がこの民のために行ったすべてのことに従って、善をもって私を覚えてください。

### 経験②:今の時代、召会が神との交わりの中心であり、神の支配の中心である

エゼキエル書は、この言葉で結んでいます。「その都の名はその日から、『エホバはそこにおられる』となる」(48:35 後半)。神はエゼキエル書の終わりにおいて、聖なる地における聖なる宮(40-44章)と聖なる都を得ます(47-48章)。神は宮に住み、また都に住まわれます。神は宮において彼の民と交わりを持ち、都において彼の民の間で王として支配されます。これは、神が宮と都において天から下って来て人と共に住まわれたことを示しています。宮と都が予表しているのは、現在の時代において召会が、神との交わりの中心であり、また神が王として支配することの中心であるということです。宮と都としての召会は、良き地としてのキリストの中にあります。宮と都としての召会の中で、神は彼の表現を得て、神と彼の民は互いに享受し、相互の満足を得ます。召会は神の宮、また神の都として、新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。

神の建造としての召会で、今日神は彼の宮、彼の住まいを持っており、また彼の行政のための都も持っておられます。このようにして、召会は、神との交わりのための、また神が王として支配するための中心になります。私たちが良き地としてのキリストの十分な享受を持つなら、宮と都という結果があります。宮と都が良き地にある時、神は彼の表現を持たれ、私たちは神を享受し、神は私たちを享受され、私たちと神は互いに満足するでしょう。

### 中高生編

新約聖書は、イエス、「神われらと共にいます」で始まり、「エホバはそこにおられる」で結んでいます。今の時代召会は、神の宮、神との交わりの中心であり、都、神が王として支配することの中心です。あなたがこのことをはっきりと見て、認識するなら、あなたの召会生活に対する態度は変革されるでしょう。召会は建造されつつあり、主が再来されたとき、千年王国における新エルサレムとなり、永遠の将来において、新天新地での新エルサレムとして究極的に完成されます。今の時代、アメリカのホワイトハウス、日本の首相官邸、韓国の青瓦台、中国の中南海、ロシアのクレムリンなどが中心ではなく、召会が中心です。召会は神との交わりの中心であり、神が統治する中心です。召会はなんと卓越していることでしょう。

召会是一方で親しみやすい家族のようですが、もう一方で威厳がある神の家です。あなたは召会生活をクラブ活動や友人との交友関係などで犠牲にしてはいけません。この世の人はキリストと召会を知らないで、これらのものを重要視します。しかしあなたの人生が祝福されるために、あなたは神と交わり、神に導いていただき、神に祝福していただくべきです。召会は神との交わりの中心であることを知れば、あなたは決して召会生活を犠牲にしないでください。また、世の中はサタンの王国であり、すべての人はサタンの支配の下で苦しんでいます。サタンの支配から逃れることのできる唯一の方法は、神の王国である召会の中に留まることです。あなたはサタンが王である国と、神が王である国のどちらを選ぶのでしょうか。もしあなたが、召会は神の王国であることを知るなら、また、それ以外にはサタンの王国であることを知るなら、あなたは自分の召会生活を尊ぶようになるでしょう。

あるいはあなたは若いので、まだ召会が威厳のある神の家であることを十分に理解してはいないかもしれませんが、しかしこれら上記の要点を主の御前で祈ってください。そうすれば、主はあなたに知恵と啓示の霊を与えてくださり、あなたが召会を正しく認識することを助けてくださいます。

報道によると、東京大学出身で厚生労働省に入省した後、国費でハーバード大学の大学院でパブリックヘルスを学んで、国会議員になった女性が、秘書に暴行と暴言で訴えられました。彼女の学歴や職歴は卓越していましたが、彼女は自制できず、怒りを爆発させてしまい、今回の選挙では落選し、暴行と暴言のゆえに起訴されました。これはこの人が謙虚、柔和、辛抱強さ、愛、平和の結合するきずななどの美德が全くなかったことを示しています。それはまた東大やハーバード大学が、これらの美德を要求していなかったということでもあります。さらにサタンの奴隷状態で自制が効かず、怒りが爆発している状態です。また野党第一党であった党首である議員も(彼は聡明で、紳士です)、今回の選挙に勝つために新しく設立されたばかりの希望の党に、党ごと移ることを自分で決定しました。しかしそのことが原因で、この野党第一党に所属していた議員は、歴史的敗北を経験することになり、この党首は現在多くの人々から厳しい批判、叱責を受けています。ここでの論点は、決断が誤っているということです。中高生のみなさんも、これから大学受験だけでなく、多くの決断に迫られることがあるでしょう。決断に迫られたとき、神と交わることができれば、あなたは誤った決定に陥ることはないでしょう。召会は神との交わりの中心です。アーメン!

1. 主がぞう加し、せい化しませ、  
主のパーソンをかくだいでして、  
栄光のしょう会、しゅつ現すため、  
主、増しくわえませ。  
主よ、せい化しませ、主は唯いつのみち、  
主をパーソンとし、かくだいでしませ。  
主よ、せい化しませ。
2. 生けることば かたり、あらい、  
わがこころを きよめたまえ。  
さらにかたり、かく部ぶんを  
すべてきよめませ。  
主よ、きよめたまえ、天然をあらいきり、  
生けることば、われにかたり  
えいこうとなせや。
3. なれ、しょくもつ、われやしない、  
つくり変えに あずからせる。  
なれしょくせば、まんぞくする、  
主よ、やしないませ。  
主よ、やしないませ、自己あらい去らせ、  
きよめ、満たし、満ち満たせや、  
主よやしないませ。
4. 主よ、やさしい はぐくみもて、  
ひつ要満たし、やしないませ。  
われ、やさしく あなたためませ  
主よ、はぐくみませ。  
主よ、はぐくみませ、つめたさを去らせ、  
主よ、やさしくはぐくみませ、  
主よ、はぐくみませ。
5. なれをわれにつくり込んで、  
栄光の召かい ととのえませ。  
かくちようして、なれもとめる  
はなよめを得ませ。  
主よ、かくちようして、召会をえい光化し、  
われらをいま なが栄光へと、  
主よ、完せいしませ。

1. Oh, sanctify us, Lord; now add Thyself to us,  
In our experience, Thy Person spread in us,  
That in reality the church be glorious,  
Lord, do add Thyself, we pray. Oh, sanctify us, Lord, today;  
Lord Jesus, You're the only way.  
We take Your Person, Lord;  
Oh, spread Yourself abroad. Oh, sanctify us, Lord, today.
2. Oh, purify us, Lord, by speaking in our heart;  
Thy living, spoken word this washing will impart.  
Increase Thy speaking, Lord, and cleanse our every part.  
Oh, purify us, Lord, we pray. Oh, purify us, Lord, today;  
Wash all our natural life away. Speak now Thy words in us,  
And make us glorious. Lord, do speak in us today.
3. O Lord, do nourish us; You are the food we need;  
As we are eating You, we'll be transformed indeed;  
We're fully satisfied as on Yourself we feed,  
So nourish us, O Lord, we pray. Lord, do nourish us today  
As all our self You wash away. Not only purify,  
But fill and satisfy; Lord, do nourish us today.
4. O Lord, do cherish us, as on Thyself we feed;  
Warm us so tenderly and meet our every need.  
Our hardness soften, Lord, till we are Yours indeed;  
Oh, cherish us, dear Lord,  
we pray. Lord, do cherish us today,  
Until our coldness flees away. Oh, hold us close to Thee  
And cherish tenderly; Lord, do cherish us today.
5. Lord, make us glorious, by all Your inner work,  
Not glory for ourselves, but glory for the church;  
That You may have Your Bride,  
thus ending all Your search.  
Lord, do work on us, we pray. Lord, do work on us today!  
To form the church Your glorious way.  
Oh, spread Yourself in us  
Till we are glorious; Oh, make us glorious, Lord, today.

1. 哦主，聖化我們，加添你的自己；  
願你寶貴人位擴展在我衷裏，  
使你榮耀召會在此顯為實際；  
哦主，求你加添自己。哦主，今日聖化我們，  
捨此無路滿足神心。惟願你作人位，  
擴展徧及四圍；哦主，今日聖化我們。
2. 哦主，潔淨我們，向我們心說話；  
洗滌我們全人，直至聖別無瑕。  
願你活話擴長，來將我們聖化；  
哦主，求你潔淨聖化。哦主，今日潔淨我們，  
不容天然生命留存。美麗、榮耀添加，  
皆因你的說話；哦主，今日潔淨我們。
3. 哦主，滋養我們，惟你是真食物；  
只需喫飽喝足，變化自然顯出。  
惟有得你餵養；我們纔真滿足；  
哦主，求你滋養眷顧。哦主，今日滋養我們，  
老舊、天然洗滌淨盡。求你來施潔淨，  
又將我們充盈；哦主，今日滋養我們。
4. 哦主，顧惜我們，以你柔愛養育；  
藉你溫情撫慰，眷顧我們所需。  
軟化剛硬石心，好來施情佔據；  
哦主，今日顧惜我們。哦主，今日顧惜我們，  
冷淡、死沉全都驅盡。當你懷摠緊緊，  
我們能不歡欣？哦主，今日顧惜我們。
5. 哦主，榮化我們，藉你內裏運行；  
非為個人明亮，乃為召會得榮。  
願你得著新婦，成就你愛經營；  
哦主，求你在我運行。哦主，今日運行我身，  
妝飾新婦迎你再臨。願你開展擴充，  
召會榮上加榮，哦主，今日榮化我們。